

内部障がい【腎臓】のある方をサポートするとき

【大切なこと】 ひとり、ひとりの状況を把握しましょう

■ 主な特性等

- 体内の水分や塩分の調整、老廃物の排泄、血圧等の調整が困難です。
- 食事療法や身体活動の制限があります。
- 大多数の人が定期的な人工透析（週3回等）を必要としています。
- 自分のお腹を使って、毎日人工透析をする人もいます。

■ 避難誘導の仕方

- 人工透析の医療的援助や常時使用する医療機器、医薬品が必要となるので確認しましょう。
- 安否確認時に、安全な場所にいるか、医療機器の継続使用が可能な状態であるのかを確認しましょう。
- 本人の状態に適した避難場所への移動を希望するのか、確認しましょう。

【自力歩行等が困難な場合】

車いすや担架等を活用して移動しましょう。

■ 避難生活支援で気をつけること

- かかりつけ透析機関との連絡確認または人工透析を受けられる病院を早急に探す等の配慮をお願いします。
- 避難所または自宅からの通院手段の確保が必要です。
- 薬やケア用品の確認と、各種装具・器具用の電源等の確保をお願いします。
- 医療器材の消毒や交換をするときは、清潔な治療スペースが必要になります。
- 医療的措置が必要と判断される場合は、安全が確保された医療機関へ速やかに移送をお願いします。

■ 災害発生時にすること、気をつけること

- 無理をせず、周りの人に助けを求めましょう。
- 自宅で災害が発生したときは、準備してある非常持出品を持って避難しましょう。

■ 避難するときに気をつけること

- 無理な動きによる転倒等に気をつけましょう。

■ 避難生活で気をつけること

- かかりつけ透析機関との連絡確認をしましょう。
- 体調がすぐれない場合は、安全が確保された医療機関へ速やかに移動しましょう。
- 医療器材の消毒や交換等の際は、清潔なスペースで行いましょう。
- 食事制限（基本的には塩分、生野菜、果物は避ける）が必要なことを告げましょう。
- 食事療法に合致した飲食物を摂取するように心掛けましょう。
- 各種装具・器具用に使用する電源等の確認をしましょう。
- 避難所や自宅からの通院手段を確保しましょう。